絵本読み場面における子どもの関心を高める母親の介入行動分析

菅原　拓朗†　石川　翔吾†　佐藤　久美子††　森本　佳子‡　加藤　由美子‡‡　桐山　伸也†
† 静岡大　†† 玉川大　‡ ベネッセコーポレーション　‡‡ ベネッセ教育総合研究所

1. はじめに

絵本の読み聞かせ場面における母子インタラクションは，子どもの発達段階初期からの音声言語獲得や愛着関係形成の過程を観察する格好の題材である．本稿では，子どもの健やかな発達を促す働きかけの形式知化を狙い，子どもの絵本読みへの意欲・関心を高める母親の介入行動の特徴を分析した結果について述べる．

2. マルチモーダル行動分析ツール

筆者らは，映像と音声による行動記録データに発話・ジェスチャ・感情などのラベルを観察者が自由に設計・付与できる機能と，多様なラベル情報を活用して特徴的な場面を柔軟に検索できる機能を備えたマルチモーダル行動分析ツールを開発している[1]．母子インタラクションにおける母親の介入と子どもの反応を分析するため，表1に示す行動特徴ラベル体系を設計し，ツールによる行動記述を実施した．

3. 母親の介入行動に着目したインタラクション分析

首都圏在住の20組の母子の協力で，英語の絵本を子どもに読み聞かせる場面を収録した映像音声データから，英語の聴取・反復のスキルが異なる 2 組の母子A・B を抽出し比較分析を行った．A の子は聴取スキルが高いが反復スキルが低い，B の子は聴取スキルが低いが反復スキルが高いという特性がある．子どもの発達に伴う介入行動の変化を明らかにするため，子どもの月齢が8～9ヶ月，16～17ヶ月，32～33ヶ月の3つの発達段階別の母子インタラクション場面を分析対象とした．付与した行動特徴ラベルに基づき，発達に伴う子どもの行動特徴の変化をまとめたものを表 2 に示す．

表 1. 介入行動特徴ラベルの構造

子どもの注意	絵本や母親に対する興味・関心の発現・消失
母親の介入	「絵本を眼前に差し出す」「名前を呼ぶ」などの子どもへの働きかけ
子どもの応答	介入に対する「発話」「指差し」などの行動
子どもの視線	「絵本」「母親」など視線を向ける対象

表 2. 子どもの行動特徴の発達変化

月齢	外面的特徴	内面的特徴
8-9	外界からの刺激に敏感 興味の対象の変化が激しい	興味を抱くものに即座に反応 状況はあまり考慮できない
16-17	興味の対象は変わりやすい 母の問いかけによく応える	自ら興味を持てるものを探す 気分で自分の意図を優先
32-33	母の介入に積極的に応答 興味が逸れてもすぐに戻る	他者との関わりの意識がある 自分の意図に基づいて発言

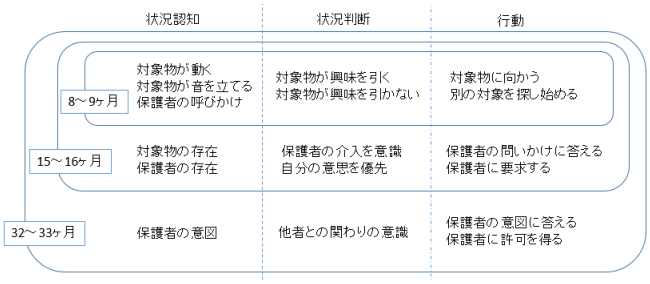

図 1. 絵本読み場面の子どもの行動思考発達モデル

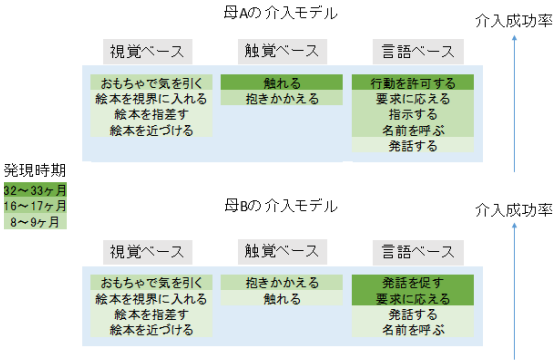

図 2. 母 A・B の介入行動の違い

3段階の違いが，自分中心で世界を捉える「一人称」，相手の存在を意識する「二人称」，相手の意図を考慮する「三人称」の視点を獲得する発達変化に対応するという考察に基づき，図 1 の行動思考モデルを設計した．母親の介入が子どもの関心を引き出すのに有効か否かをシーンごとに人手で判別したデータを用意し，子どもの発達段階別の有効な介入方法を考察した．その結果，図 1 のモデルは母親が介入に用いるモダリティが，視覚(動き)→触覚(触れ合い)→聴覚(発話)と変化するのに対応することを見出した．A と B の母親の介入をモダリティ別に分類・比較した結果を図 2 に示す．聴取スキルが高い A の母は，子が自分から他者に働きかける行動を引き出す介入が多いのに対し，反復スキルが高い B の母は，子が他者からの働きかけに適切に応答する行動を促す介入が多いことが示唆された．

4. おわりに

絵本読み場面における母親の介入と子どもの反応を発達段階別に比較できる行動分析モデルを構築し，母親の介入の質と英語の聴取・反復スキルの関係を考察するのに有用であることを示した．

参考文献

[1] S. Kiriyama, et al., “A Large-scale Behavior Corpus Including Multi-Angle Video Data for Observing Infants’ Long-term Developmental Processes,” ICMI2007, pp.186-192, 2007.

Copyright © 2017 IEICE